

## 重点審議事項の論点整理について【環境・農水常任委員会】

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
琵琶湖をとりまく環境の保全と自然の恵みの活用に関する取り組みについて	<p>令和2年7月10日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水草・オオバナミズキンバイ等の状況について</li> <li>琵琶湖森林づくり条例の改正および琵琶湖森林づくり基本計画（第2期）の答申について</li> <li>令和2年度「びわ湖の日」の取組について</li> </ul>	琵琶湖森林づくり条例および琵琶湖森林づくり基本計画について	<ul style="list-style-type: none"> <li>県産材の需要を掘り起こし、販路開拓も含めて、県の役割を果たしていただきたい。</li> <li>100年後の目指す姿として、安易に森林づくりだけを見るのではなく、100年後にどんな社会になっているかをしっかりとイメージして、打つ手を間違えないようにしていただきたい。</li> <li>バイオマス発電をしようという事業者には、伴走型で支援する体制を作っていただきたい。</li> </ul>	
	<p>令和2年9月10日 県内行政調査（びわこ文化公園）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>せた森のようちえんの活動について</li> </ul>	有害鳥獣の捕獲状況と被害について	<ul style="list-style-type: none"> <li>若手狩猟者育成のため、補助の出し方や研修の工夫などで、ハードルを少しずつ下げて若い人が入りやすいようにしていただきたい。</li> <li>侵入防止柵は農業被害を防ぐためのものであり、住宅地での設置は難しいことは分かるが、安全という意味において住宅地も一体的に整備していただきたい。</li> </ul>	
	<p>令和2年9月10日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>琵琶湖森林づくり条例の一部を改正する条例案要綱に対する意見・情報の募集について</li> <li>令和元年度有害鳥獣の捕獲状況と被害概要について</li> </ul>	造林公社について	<ul style="list-style-type: none"> <li>分収事業でできるだけ収益を上げていく努力をしていただきたい。</li> <li>人件費の削減等経営努力をしつつ、返済については速やかに長期的なシミュレーションをして、返済における課題の分析をしていただきたい。</li> <li>第3期中期経営改善計画について、出捐金をこの5年間でいくらか減らしていくかというしっかりした目標を計画の段階で持つようにしていただきたい。</li> </ul>	
	<p>令和2年10月5日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>議第124号 令和2年度滋賀県一般会計補正予算（第7号）</li> <li>報第14号 一般財団法人滋賀県造林公社の令和元年度中期経営改善計画に関する経営評価結果について</li> <li>公益法人等の経営状況説明書について（一般社団法人滋賀県造林公社）</li> <li>出資法人経営評価の結果について（一般社団法人滋賀県造林公社）</li> <li>一般社団法人滋賀県造林公社の財務状況について</li> <li>一般社団法人滋賀県造林公社「第3期中期経営改善計画」の策定の着手について</li> </ul>	水草について	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川における水草の繁茂についても、土木交通部と十分調整して除去等に努力していただきたい。</li> </ul>	
		滋賀県ビオトープネットワーク長期構想について	<ul style="list-style-type: none"> <li>重点拠点区域に指定されると、そこに住んでいる者の生活にどのような影響が生じるのか等、もう少し生活に密着した視点で考えていただきたい。</li> </ul>	

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
	<p>令和2年10月15日 県内行政調査 (宮城定右衛門氏苗畑)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>苗木生産現場の取組について (栗東市立自然体験学習センター森の未来館)</li> <li>森林環境学習「やまのこ」事業について</li> </ul> <p>令和2年11月5日～6日 県外行政調査 (西栗倉村役場)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>百年の森林事業について (智頭町森のようちえん まるとんぼう)</li> <li>自治体と連携した森のようちえんの取組について</li> </ul>	<p>滋賀県琵琶湖レジャー利用適正化基本計画について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主組織に任せておくとまとまりがつかないので、県がこの地域、この場所はプレジャーボート等の持ち込みは禁止だということを明確にしていきたい。</li> <li>ボートレースにおいて、環境対応型のエンジンに変えられないということであれば、ボートレース側に琵琶湖の環境を守るための応分の負担を求めている。</li> <li>コロナ禍において、湖岸緑地等でのキャンプが増加しており、ルールを決めて正しく遊んでもらうよう、キャンプ等について具体的に計画に書き込んでいきたい。</li> </ul>	
	<p>令和2年11月11日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>滋賀県琵琶湖レジャー利用適正化基本計画の改定(素案)について</li> <li>琵琶湖森林づくり条例の一部を改正する条例案要綱に対して提出された意見・情報とそれらに対する滋賀県の考え方について</li> </ul>	<p>琵琶湖北湖の底層溶存酸素等の現状について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>琵琶湖の深呼吸ができていないという負の事象を素材に、温暖化対策のために県民の行動を変えるような啓発に取り組んでいきたい。</li> </ul>	
	<p>令和2年12月15日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>琵琶湖北湖の底層溶存酸素等の現状について</li> <li>(仮称) 琵琶湖博物館第三次中長期基本計画(素案)について</li> <li>琵琶湖森林づくり基本計画(第2期)(案)に対する意見・情報の募集について</li> <li>一般社団法人滋賀県造林公社「第3期中期経営改善計画」の策定状況について</li> <li>滋賀県ビオトープネットワーク長期構想の変更(骨子案)について</li> </ul> <p>令和3年2月10日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>滋賀県ビオトープネットワーク長期構想変更(案)に対する意見・情報の募集について</li> </ul>	<p>琵琶湖博物館第三次中長期基本計画について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>うみのこが新船になり、烏丸港に着岸できなくなったが、烏丸港に着岸して琵琶湖博物館に立ち寄ることで、より環境学習の効果が上がるのであれば、うみのこの着岸の可能性について模索していきたい。</li> <li>琵琶湖博物館への来館者を増やすため、どんな方が来館しているのか、深掘した分析を行っていただきたい。</li> <li>駐車場から琵琶湖博物館への導線を魅力的なものにするよう工夫いただきたい。</li> </ul>	

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
環境負荷低減の推進について	<p>令和2年7月10日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例の見直しについて</li> </ul> <p>令和2年10月5日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(仮称) 滋賀県食品ロス削減推進計画(素案)について</li> <li>・(仮称) 滋賀プラスチックごみゼロに向けた実践取組のための指針(素案)について</li> </ul>	滋賀県食品ロス削減推進計画について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動変容を促す際に、少しやりたくなる仕組みとしてナッジというものがあるので、施策をつくっていくときの参考としていただきたい。</li> <li>・計画策定に当たっては、今まで進めてきた取組を検証しながら、確実に食品ロスを減らす計画となるようしっかり検討いただきたい。</li> <li>・県民意識を変えるのが一番のポイントであり、子供たちが学校教育において食品ロスをどう体感して学べるか、教育委員会等とも連携して計画に盛り込んでもらいたい。</li> <li>・フードドライブについて、県が取り組んでいるところを見せることも啓発の大きな力となるので、しっかり発信していただきたい。</li> </ul>	
	<p>令和2年10月15日 県内行政調査(金勝生産森林組合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金勝生産森林組の取組について</li> </ul> <p>令和2年12月15日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第五次滋賀県廃棄物処理計画の策定について</li> <li>・滋賀県食品ロス削減推進計画(案)に対する意見・情報の募集について</li> <li>・滋賀プラスチックごみゼロに向けた実践取組のための指針(案)に対する意見・情報の募集について</li> <li>・高島浄化センターコンポスト化事業の実施について</li> </ul>	第五次滋賀県廃棄物処理計画について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクルにも力を入れるのであれば、リサイクル率について具体的な数値目標を設定していただきたい。</li> <li>・香川県三豊市などではトンネルコンポストという方法を使った燃やさないごみ処理施設があり、温室効果ガス削減の観点も含め広い視野で計画を立てていただきたい。</li> <li>・一般廃棄物については市町の役割であるが、技術的な支援、助言等の県の役割についてもしっかり記述していただきたい。</li> </ul>	
	<p>令和3年2月10日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイクロプラスチック問題とその実態および影響評価について</li> <li>・滋賀県域からの温室効果ガス排出実態(2018年度)について</li> <li>・しがCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに向けた取組の方向性について</li> </ul>	しがCO <sub>2</sub> ネットゼロ社会づくりに向けた取組の方向性について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民の意識を2050年しがCO<sub>2</sub>ネットゼロに向けていくよう有識者の意見を聞きながら進めていただきたい</li> <li>・地球温暖化により県民の暮らしや経済にどのような影響があるのかという危機を認識し、2050年しがCO<sub>2</sub>ネットゼロ達成に向けた具体的な数字を示していただきたい。</li> </ul>	

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
<p>力強い農林水産業の確立と活力ある農山漁村づくりについて</p>	<p>令和2年6月9日 常任委員会            ・滋賀県農業・水産業基本計画の策定について            ・(仮称) 持続的で生産性の高い滋賀の農業推進条例について</p> <p>令和2年7月9日 常任委員会            ・滋賀県棚田地域振興計画(案) について</p> <p>令和2年8月3日 常任委員会            ・(仮称) 持続的で生産性の高い滋賀の農業推進条例要綱案について</p> <p>令和2年10月2日 常任委員会            ・滋賀県農業・水産業基本計画の進行管理および次期計画の策定の取りまとめの方向性について</p>	<p>滋賀県農業・水産業基本計画について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者、水産業者の所得確保に向けた具体的な数値目標をできるだけKPIに反映し、数値で分かりやすく実感できる計画にしていきたい。</li> <li>・若者や子供にアプローチするためには、デザインやマーケティングといった分野の戦略も重要であり、引きつけるデザインなどを考えていただきたい。</li> <li>・漁業について、漁場の回復に力を入れるとともに、高齢者が少しでも長く続けられるように、また兼業でもできるようにしていきたい。</li> <li>・新規就農にはさまざまなハードルがあるので、新規就農への関心がある方の気持ちが途中で途切れないように就農に至るまで伴走型の支援を行っていただきたい。</li> <li>・農業、水産業の所得が、2次産業、3次産業に引けをとらないものとなるなど、経済面から魅力あるものとするため、儲かる仕組みづくりを考えていただきたい。</li> </ul>	
	<p>令和2年10月5日 常任委員会            ・令和2年度における「やまの健康」の取組について</p> <p>令和2年11月11日 常任委員会            ・「(仮称) 持続的で生産性の高い滋賀の農業推進条例要綱案」に対して提出された意見とそれに対する滋賀県の考え方について</p>	<p>持続的で生産性の高い滋賀の農業推進条例について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産性の高い農業を目指そうということであれば、一定の基盤が整っていないと生産性の高い農業というのはできないのではないかと。</li> <li>・要綱は部長の印鑑一つで変えることができるものであり、その内容は議会での議決を経る条例で定めていただきたいとの県民の声を重く受けとめていただきたい。</li> <li>・農業の多面的な機能を県民に知らしめるとともに、この条例について、団体や県民全体等、それぞれに的を射た啓発を行っていただきたい。</li> </ul>	
	<p>令和2年11月5日～6日 県外行政調査            (株式会社 西栗倉・森の学校)            ・間伐材等の地域資源を活かした商品開発、販売等の取組について</p>	<p>滋賀県棚田地域振興計画について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・棚田で作っている、美しい景観を守っているお米だということの付加価値をつけて売れる仕組みを考えていただきたい。</li> <li>・棚田トラスト制度について、寄附金をたくさん集めるように工夫していただきたい。</li> </ul>	
	<p>(大江ノ郷自然牧場)            ・6次産業化の取組について</p>	<p>地域農業戦略指針について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滋賀県で作られている米がどこでどのような方を買われているかをきめ細かく把握していかないと、マーケットインの考え方に基づく生産体制づくりができないのではないかと。</li> </ul>	

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
	<p>令和2年12月14日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議第169号 持続的で生産性の高い滋賀の農業推進条例案</li> <li>・次期 滋賀県農業・水産業基本計画の素案について</li> <li>・令和2年産米の作柄と今後の対策について</li> <li>・令和3年産米の生産目標について</li> <li>・地域農業戦略指針の改定について</li> <li>・滋賀県内水面漁業振興計画の改定について</li> <li>・滋賀県淡水真珠振興計画の改定について</li> <li>・アユの資源と早期アユの漁獲状況について</li> <li>・棚田地域振興法第6条に基づく滋賀県棚田地域振興計画の策定について</li> </ul> <p>令和3年2月10日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滋賀県産農畜水産物における今後の輸出支援の考え方について</li> </ul>	<p>滋賀県内水面漁業振興計画について</p> <p>滋賀県淡水真珠振興計画について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業就業者を増やすため、漁場を回復して漁獲が上がるように取り組んでいただきたい。</li> <li>・一定の所得補償のような仕組みがないと漁業に従事するのは難しいのではないか。</li> <li>・真珠だけではなく、貝殻を有効利用できるような事業も引き続き計画の中に入れていただきたい。</li> <li>・琵琶湖の真珠養殖の様々な歴史を見られるような場所があるとよいのではないか。</li> </ul>	

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
<p>新型コロナウイルス感染症による農畜水産物の消費減少や価格低下等への対策について</p>	<p>令和2年4月28日 常任委員会            ・議第91号 令和2年度滋賀県一般会計補正予算(第2号)</p> <p>令和2年6月23日            (近江牛生産者の方々の県民参画委員会)            ・新型コロナウイルス感染症拡大による近江牛への影響について</p> <p>令和2年6月23日 県内行政調査            (小杉豊農園)            ・新型コロナウイルス感染症拡大による観光農園への影響について</p> <p>令和2年7月9日 常任委員会            ・議第110号 令和2年度滋賀県一般会計補正予算(第5号)</p> <p>令和2年10月2日 常任委員会            ・新型コロナウイルス感染症への本県農畜水産業の対応について</p>	<p>農畜水産物への支援について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いまだから地産地消キャンペーンで県が助成を行う際には、事業者に意気込みを持ってもらうため、これによってどれだけ売り上げて、どれだけ利益を得るのかという目標を持つようアドバイスや助言をしていただきたい。</li> <li>・近江牛市場流通活性化緊急支援事業について、補助の切れ目が枝肉価格高値安定の切れ目にならないよう、しっかりと見極めながら執行していただきたい。</li> <li>・コロナ禍の終息が見通せない中、生産量の調整など農家の悩みは非常に大きいところであり、きめ細かな対応を行っていただきたい。</li> <li>・沖島は大半が漁業をなりわいにされており、高齢化率も高く、コロナ禍で水産業に大きな影響が出ると考えられることから、今後の状況を注視し、支援していただきたい。</li> </ul>	